



Y.Hatanaka

## THE TOKYO YUSHUN (JAPANESE DERBY)

## 第92回 東京優駿 (日本ダービー) (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 300,000,000円 120,000,000円 75,000,000円 45,000,000円 30,000,000円  
付加賞 27,713,000円 7,918,000円 3,959,000円



レース映像は  
こちらでご覧  
いただけます。

牡・牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 馬齢重量

2025.6.1 東京 晴・良 芝2400m (国際) (指定)

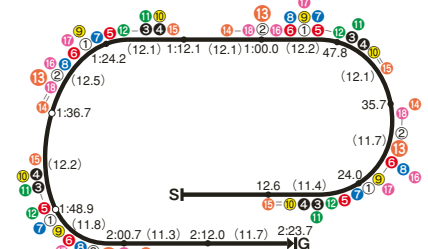
順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑬	クロワデュール	牡	3	57	北村友一	2:23.7	4-3-2-3	34.2	504(+4)	2.1①	斉藤崇史(栗東)	120
2	⑦	マスカレードボール	牡	3	57	坂井瑠星	¾	8-8-7-7	33.7	466(+6)	6.8③	手塚貴久(美浦)	118
3	②	ショウヘイ	牡	3	57	C.ルメール	1½	3-3-4-4	34.3	460(+4)	14.4⑥	友道康夫(栗東)	116
4	⑧	サトノシャイン	牡	3	57	武 豊	クビ	2-2-2-2	34.7	496(±0)	12.3⑤	杉山晴紀(栗東)	115
5	③	エリキング	牡	3	57	川田将雅	1¼	14-14-14-14	33.4	500(±0)	17.0⑧	中内田充正(栗東)	113
6	⑦	ミュージアムマイル	牡	3	57	D.レーン	クビ	11-11-11-10	34.1	496(-4)	5.7②	高柳大輔(栗東)	113
7	⑧	エムズ	牡	3	57	戸崎圭太	クビ	5-6-6-6	34.5	448(+6)	77.5⑪	池江泰寿(栗東)	112
8	⑨	ジョバンニ	牡	3	57	松山弘平	クビ	8-8-9-9	34.3	480(-2)	15.9⑦	杉山晴紀(栗東)	112
9	⑨	ファイアングランツ	牡	3	57	佐々木大輔	¾	5-5-4-4	34.9	456(+2)	114.7⑫	堀 宣行(美浦)	111
10	①	リラエンブレム	牡	3	57	浜中 俊	½	10-8-9-10	34.4	484(+4)	76.9⑩	武幸四郎(栗東)	110
11	④	ホウオウアートマン	牡	3	57	田辺裕信	2½	1-1-1-1	36.2	462(±0)	232.0⑬	矢作秀人(栗東)	106
12	④	カラマティアノス	牡	3	57	池添謙一	クビ	13-13-13-12	34.7	462(-2)	126.4⑫	奥村 武(美浦)	106
13	⑩	トッピーン	牡	3	57	岩田望来	¾	17-17-16-16	34.2	464(-4)	84.4⑫	笹田和秀(栗東)	105
14	⑥	ファンダム	牡	3	57	北村宏司	1½	5-6-7-7	35.6	470(±0)	10.8④	辻 哲英(美浦)	103
15	④	ドラゴンブースト	牡	3	57	丹内祐次	1¼	16-16-16-16	34.7	470(-6)	298.5⑬	藤野健太(栗東)	100
16	①	ニシノエージェント	牡	3	57	津村明秀	1¼	14-14-14-14	35.3	476(+6)	268.2⑬	千葉直人(美浦)	98
17	⑤	レディネス	牡	3	57	横山典弘	大差	12-11-12-12	38.0	496(+6)	50.1⑨	昆 貢(栗東)	76
18	⑤	ファウストラゼン	牡	3	57	M.デムーロ	3½	18-18-18-18	37.6	458(+2)	85.2⑬	西村真幸(栗東)	71

単勝③210円(1¼) 複勝③110円(1¼) ⑦190円(3¼) ②300円(6¼) 枠連⑦-⑧420円(1¼)

馬連③-⑦560円(1¼) ワイド③-⑦280円(1¼) ②-③620円(7¼) ②-⑦1,310円(14¼)

馬単③-⑦870円(1¼) 3連複②-③-⑦2,990円(10¼) 3連単③-⑦-②8,460円(13¼)

5重勝③③⑦④③675,690円(848票) 対象競走: 東京9R/京都9R/東京10R/京都10R/東京11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m  
35.7 - 47.8 - 1:00.0 47.0 - 34.8

### アラカルト

- ・北村友一騎手は日本ダービー初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算36勝目
- ・斉藤崇史調教師は日本ダービー初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算24勝目
- ・キタサンブラック産駒はJRA重賞通算22勝目
- ・最優秀2歳牡馬の勝利は22年ドウデュースに続く通算9回目
- ・東京競馬場デビュー馬の勝利は23年タスティエーラ以降3年連続、通算19回目
- ・非当選馬 1頭(マイユニバース)
- ・非抽選馬 1頭(ジュンアサヒソラ)

# クロワデュノール *Croix du Nord*

牡 青鹿毛 2022.3.21生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・斉藤崇史厩舎  
馬名意味・北十字星(フランス語)

ライジングクロスGB系 F20-c

キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シュガーハート 鹿毛 2005	サクラバクシンオー オトメゴコロ
ライジングクロスGB Rising Cross 黒鹿毛 2003	Cape Cross 黒鹿毛 1994	Green Desert Park Appeal
	Woodrising 鹿毛 1992	Nomination Bodham

5代までのインブリード: Lyphard S5×S5 Busted S5×M5

## INTERVIEW

佐々木淳史 厩舎長(ノーザンファーム空港)

### この仕事ならではの喜びや楽しさを感じました

皐月賞は人気馬として勝ちにいったの2着だったので、負けても強い内容でした。あの結果を受けて、関係者の誰もがダービーを勝ちたいという思いを強くしたと思います。追い切りの内容だけでなくダービー当日のパドックを周回する姿からも、前走以上の状態に見えました。勝った瞬間は嬉しさだけでなく、この仕事を続けてきたからこそその喜びや楽しさを感じました。

K. Ishiyama



馬群のゴチャつきに巻き込まれ、リズムを乱す場面があった皐月賞では圧倒的な支持(単勝1・5倍)に応えられなかった本馬だが、始動戦をひと叩きされて臨んだ大一番で一段上のパフォーマンスを披露。2歳時から描かれてきた「二強」の勢力図に違わぬ実力を証明し、戴冠を果たした。オナーサードは後日、秋は凱旋門賞へ遠征させる意向を正式に表明。輝きを取り戻した「一等星」の前途には大きな期待と夢が広がる。

も息の長い末脚を發揮。坂の上りで先頭に躍り出てもその脚勢は陰らず、外から追い込んできたマスカレードボールの反撃を余裕綽々と封じてゴールを駆け抜けた。

荒天に見舞われた前日は一転、穏やかな天候に恵まれたダービーデーの東京競馬場。馬場状態も回復し、晴れたの敗戦を喫した皐月賞を意欲からの巻き返しを期すクロワデュノールが、二冠制覇に挑むミュージアムマイル、皐月賞3着のマスカレードボールを2、3番人気に從え、改めて断然の支持を集めた。フランス語の「北十字星」から名付けられた同馬は本来の輝きを取り戻して完勝。先頭に立って率いてきたクラシックロードの頂点に君臨した。果たしてどの馬が先導役を務めるのか。確たる逃げ馬が不在で注目された展開は、大外枠を引いたサトノシヤイ

ニングがまずは意欲的に飛び出したものの、2コーナーでホウオウアイトマンがこれをかわして主導権を奪取。次第にリードを広げ、大逃げの形に持ち込む。2番手以下の各馬は自分のリズムを守って進み、クロワデュノールの北村友一騎手は3、4番手の外を追走マスカレードボールは中団、ミュージアムマイルはその2馬身ほど後ろで折り合いに専念した。

5、6馬身のリードをとり、軽快に飛ばす逃げ馬を追って北村騎手は4コーナーから反撃を開始。サトノシヤイニングとともに徐々に差を詰め、直線入口から追い出しにかかる。積極的なエスコートに応え、クロワデュノール

## 父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 中央20戦12勝(ジャパンC<sup>G1</sup>、菊花賞<sup>G1</sup>、有馬記念<sup>G1</sup>、天皇賞(春)<sup>G1</sup>2回、天皇賞(秋)<sup>G1</sup>、大阪杯<sup>G1</sup>、京都大賞典<sup>G2</sup>、スプリングS<sup>G2</sup>)、年度代表馬2回、最優秀4歳以上牡馬2回、18年から供用〔代表産駒〕イクイノックス(ジャパンC<sup>G1</sup>、有馬記念<sup>G1</sup>、天皇賞(秋)<sup>G1</sup>2回、宝塚記念<sup>G1</sup>、ドバイシーマクラシック・首<sup>G1</sup>、東京スポーツ杯2歳S<sup>G2</sup>)、クロワデュノール(本馬)、ソールオリエンズ(皐月賞<sup>G1</sup>、京成杯<sup>G2</sup>、日本ダービー<sup>G1</sup>2着)、ウィルソンテソーロ(JBCクラシック<sup>J4</sup>1)、ガイアフォース(セントライト記念<sup>G2</sup>、安田記念<sup>G1</sup>2着、フェブラリーS<sup>G1</sup>2着)、スキルヴィング(青葉賞<sup>G2</sup>)、ピコチャンブラック(スプリングS<sup>G2</sup>)、クリスマスバレード(紫苑S<sup>G2</sup>)、ラヴェル(アルテミスS<sup>G2</sup>)、アドマイヤマツリ(福島牝馬S<sup>G2</sup>)、サトノカルナバル(函館2歳S<sup>G2</sup>)、エコロデュエル(中山グランドジャンプ<sup>J4</sup>1)

## 母ライジングクロスGB

英、愛、北米、伊、独、仏32戦5勝(パークヒルS・英<sup>G2</sup>、ルーベS・英<sup>L</sup>、英オークス<sup>G1</sup>2着、プレステージS・英<sup>G3</sup>2着、愛オークス<sup>G1</sup>3着、ピウィッチS・米<sup>G3</sup>3着、スプリングC・英<sup>L</sup>3着)、08年輸入

クライナーヘルツ(10 牡父ネオユニヴァース)中央11戦0勝、地方14戦3勝  
ライザン(11 牡父ネオユニヴァース)中央21戦1勝、豪1戦0勝  
アースライズ(12 牝父マンハッタンカフェ)中央16戦3勝(カウントダウンS、賢島特別、フラワーC<sup>G2</sup>2着、マーメイドS<sup>G2</sup>3着、愛知杯<sup>G2</sup>3着、オークス<sup>G1</sup>4着)、ラスカンプレス 夬(6社S、南武特別)の母  
ミッキークロス(14 牝父ハーツクライ)中央15戦2勝(汐留特別)、地方11戦0勝

サトノレックス(15 牡父ダイワメジャー)中央2戦0勝  
カリナン(16 牝父ヴィクトワールピサ)中央7戦0勝  
(17 牡父スクリーンヒーロー)  
フーリ(18 牡父スクリーンヒーロー)中央5戦0勝、地方34戦2勝  
ライジングホープ(20 牝父リアルスティール)中央8戦0勝、地方21戦2勝  
フェアアイル(21 牝父ミッキーアイル)中央7戦0勝  
**クロワデュノール** 本馬(22 牡父キタサンブラック)中央5戦4勝(日本ダービー<sup>G1</sup>、ホープフルS<sup>G1</sup>、東京スポーツ杯2歳S<sup>G2</sup>、皐月賞<sup>G1</sup>2着)  
獲得総賞金532,486,000円

チャリングクロス(23 牡父キタサンブラック)中央1戦0勝 夬

(24 牝父サトノダイヤモンド)

※13(不受胎)、19(流産)、25(前年種付せず)

## 「一等星」の輝きを取り戻し頂点へ